

水を大切に使おう！

日々物価が高騰しているのではと思うくらい、食料品から雑貨、衣料などの値段が跳ね上がっています。水道・光熱費も負けずに価格が上昇しています。気にかけないで、日本と同じように水道・光熱費を使用していたら、1年に1度の精算時に多額の請求書が届くかもしれません。日頃から注意して、無駄のない消費を心がけましょう。

ベルギー人は、一日に平均110ℓの水を使うそうです。そのほとんどが、風呂とトイレでの使用量です。水道代は、(1世帯に住む人数)×(一般の年間使用量)から計算されて、前払い金額が決まり、数カ月に1度請求書が来ます。そして、年に1度のメーターチェックで、年間使用量の誤差が調整され、差額を請求されます。したがって、気かけずに使っていると、ものすごい額の請求書が届くかもしれません。

さて、サプライズのない様にするには、どうしたらいいでしょう。まず、時間を決めて、メーターをチェックしてみましょう。1週間くらい続けて、一日の使用量を確認してください。また、夜、水道を使わない時間帯にメーターの数字が変わらないかもチェックしてください。もしかしたら、どこかで水漏れが起こっているかもしれません。

一日の水道使用量が110ℓを超えている場合は、節水を始めましょう。というのも、最低限に必要な消費量に対する値段は妥当なのですが、その量を超えると、消費量に従って使用料が跳ね上がっていきます。つまり、無駄遣いをするとう水道代が高くなるという構造になっています。

【風呂】



1回の使用量が150ℓと、風呂に入ると1日の水道使用量を遥かに超えた量を入浴時に使います。風呂は週末にゆっくりと、平日は5分間のシャワーで50ℓの使用量、これで体を清潔にするのも賢い対策ですね。体や髪を石鹸で洗っている時に、水の流れを止めておくのも節約になります。

【トイレ】

トイレを使用した後に水を流さないのは無理なので、流れる水量を調節しましょう。流れる水の量が2段階になっているトイレでは、排泄物により使い分けましょう。旧式のものでは、水タンクの中に砂や水の入ったペットボトルを入れておくと、1回に流れる水量を減らせます。



【食洗機】

手でこまめに食器を洗うより、食洗機を使ってまとめて洗う方が、遥かに消費水量の節約になります。食洗機1回の水道使用量は、20ℓ程度です。



【洗濯機】



色ごと、または素材ごとに洗濯機を使っていませんか？洗濯物の量に関わらず、洗濯機が使用する水量は、1回60ℓ程度です。デリケートな素材の物や色が落ちる物以外は、まとめて30℃で洗っても効果は同じです。また、「エコノミープログラム」を使って、水と電気の使用量を減らしましょう。

【蛇口】

歯磨き中、石鹸で手を洗っている時、米をといでいる時など水が不要な時は、まめに水を止めて無駄な消費を減らしましょう。洗車も洗車場や水を節約しながらの清掃を心がけましょう。



生きるためになくってはならない水、私たちは一日におよそ2.5ℓの水を汗や排尿で失うそうです。しかし、食事などで1ℓは補われています。つまり、残りの1.5ℓを意識して採らなければなりません。体内の水分が2%減少しただけで、集中力が低下したり、記憶力が薄れていくそうです。コンピュータの前で仕事をしたり、読書中に疲れを感じたら、コーヒー・紅茶ブレイクをして、水分を補給しましょう。また、背中や関節が痛い時に、1ℓ近くの水を飲むだけで、痛みが和らいてくるそうです。水は、万能薬ですね。水を無駄なく大切に使うって、楽しい生活を送りましょう。

下記ウェブサイトで、ブリュッセル市内のメーターチェックの期日を確認できます。

www.hydrobru.be/informations-pratiques/relevés-des-compteurs